

# 富山視察報告書

## <視察地>

- ・全国日台国際交流大会
- ・伏木富山港(新湊地区)
- ・富山ライトレール

## <視察日程>

令和元年9月28日(土)～令和元年9月29日(日)

## <報告者>

日本維新の会神戸市会議員団

## 【視察主旨】

神戸と台湾の結びつきは昔から強く、また、本年10月18日から20日まで、神戸市において「LOVE TAIWAN」という日本にいながら台湾を体感できるイベントが初開催されます。メリケンパークで行われるイベントには約50ブースが出店予定されており、本場の台湾の味が楽しめる食ブース、女性に人気の色鮮やかで可愛い雑貨が購入できる物販ブースが出店されます。2年後の日台サミット神戸開催にむけて、このイベントPRを兼ねて、また、今後台湾からインバウンドの取り組みにむけてどのようなことができるか検討するために「日台交流サミット in 富山」に訪問しました。

また、都市空間向上計画策定に向けてのコンパクトシティのまちづくりの観点より、また、公共交通の在り方においては、LRT導入の先進事例として、富山ライトレール株式会社を訪問して、本市の導入の可能性を検討しました。富山市は北陸新幹線開通後、市内への誘導線を潤滑にするため、JR駅から直接のLRT乗換えを可能にするため、民間鉄道の南北連結工事を行っており、利便性向上を図っております。また、「世界で最も美しい湾クラブ」に選ばれた富山湾に属する伏木富山港、海王丸パークにおいてのベイエリアのにぎわいづくりや、拠点化国際輸送の取り組みについて視察する事等を目的として視察いたしました。

日本神戸市会議員団 外海 開三  
住本 かずのり  
高橋 としえ  
さとう まちこ  
辻 康裕

【日時】令和元年 9 月 28 日 16:00~20:30

【視察先】全国日台国際交流大会 日台交流サミット in 富山  
ホテルグランテラス富山

【報告者】外海開三

【内容】

今年で第 5 回目を迎える日台交流サミットが富山県で開催される。これまで築き上げてきた“友愛”と“団結”の精神をさらに深めながら、両国の明るい未来に向けた「躍動元年」になることを祈念し、今サミットがそのキックオフになればと期待を込め、日台交流サミット 富山宣言が採択された。次年度は石川県加賀市にて、そして再来年は神戸市にて開催されることが決定。開催市として日華親善神戸市会議員連盟会員を中心に今サミットの基調講演や歓迎交流会の運営などについて視察を行なった。



【日時】 令和元年 9 月 29 日(日)13:30-14:40

【視察先】 伏木富山港(新湊地区)

【報告者】 つじやすひろ

【担当者】 富山県富山新港管理局 局長 坂井禎氏

富山県土木部港湾課 課長 上野彰氏

【内容】

## 1 伏木富山港(新湊地区)

伏木富山港は、新湊地区(富山新港)、富山地区(富山港)、伏木地区(伏木港)の 3 地区で構成されている。もともと 3 港は別々の港であった。今回は、最も新しく規模の大きな新湊地区を訪問した。

新湊地区は、新産業都市建設の一環として、放生津潟を開削して海とつなげることにより建設された掘込港湾である。背後地は臨海工業地帯であり、90 社余りの企業が立地している。この地区は、3 地区の中で唯一コンテナターミナルを有しており、伏木富山港の国際物流の中核的な役割を果たしているコンテナ取扱量は、2018 年 74,386TEU。

伏木富山港の特色として、

①日本海側の中央に位置する対岸諸国へのゲートウェイ

→対岸諸国(韓国・中国・ロシア)への所要日数が短い。

釜山トランシップにより世界各国との輸出入が可能。

②期待ふくらむシベリア・ランド・ブリッジ構想

→シベリア鉄道使用によって、モスクワまでの所要日数の短縮化。

伏木富山港のラストポート化。

③伏木富山港 拠点化輸送実験利用補助金

→事例として、韓国向けの輸出について、横浜港から伏木富山港へシフト。

④各種奨励制度

→荷主企業奨励金制度・小口混載貨物コンテナ利用促進補助金・船社への助成制度等。

## 2 新湊大橋

新湊大橋は、富山県射水市 富山新港に架かる日本海側最大級の斜張橋。黒部ダムを除く富山県内の建築物の中で最も高い建物である。上層は車道、下層は自転車歩行者道(480m)になっている(上下移動にはエレベーターを利用)。

斜張橋の凜とした美しい姿と富山湾、青空のもとに広がる雄大な立山連峰に帆船海王丸(海

王丸パーク)は、富山県の象徴的な光景といえる。

### 3 海王丸パーク

海の貴婦人と呼ばれる海王丸を中心とした、人びとが集い、学び、憩うベイエリア。

帆船海王丸、ふれあい広場、ピクニック広場、臨海野鳥園、観光船、飲食施設、富山新港花火大会、海洋丸に宿泊しながらの海洋教室等が行なわれている。

近くには、新湊漁港で獲れたての海の幸が豊富に揃う海鮮市場、観光客で賑わう 新湊きつときと市場がある。

#### 【所見】

新湊地区は、富山ベイエリアの魅力が凝縮された拠点といえる。ベイエリアのキラーコンテンツ(新湊大橋、富山湾、雄大な立山連峰、帆船海王丸)が揃う海王丸パークは、欠かせない観光スポットであり、その前後で、人気の「新湊きつときと市場」でお金を使ってもらおうという導線がうまく機能していると感じた。来訪者にどうやってお金を使って貰えるか、この点をどう仕掛けていくか、神戸市にとっても参考となる事例といえるだろう。



【日時】 令和元年 9 月 29 日(日)9:40-11:30

【視察先】 富山ライトレール

【報告者】 さとうまちこ

【担当者】 富山ライトレール株式会社 村上取締役

【内容】

### 1、情勢

- ・全国で最も低密度

富山平野と強い戸建志向により郊外に市街地が広がり県庁所在都市において最も低密度な市街地を有する。

- ・高い自動車依存と衰退する公共交通

また乗用車保有台数は富山県全国第2位であり、保有台数もいまだに増加傾向にある。自動車の利用率が高いため公共交通のバスなどが大幅に減少している。

- ・自動車が自由に使えない市民の存在

しかし高齢化の進展により車をつかえない人が増え、運転免許をもっていない市民の利便性を考えると自動車に代わる公共交通の充実が求められている。

### 2、施策方針

- ・コンパクトなまちづくり

鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、都市の機能を集積させコンパクトな街づくりの実現を目指す

・公共交通の活性化を必要であれば行政がコストを負担し、地区設定と居住人口設定し沿線へ居住促進する。都市機能を集積し中心市街地の活性化を都市マスタープランなどのまちづくり計画に位置付け市民にわかりやすく説明する。

### 3、整備効果

平日で約2.1倍、休日で約3.9倍の利用者数増。沿線における観光施設など入館者数も増加。南北交通を一体化していくなど今後も拡充予定。

【所見】

住宅の真横を走るものの防音壁はない。振動や音が気になりそうなものだが、以前は貨物車が通っていたという事で、市民には馴染みがあり、抵抗はないという事だった。

内部の床面はフラットで、施設はバリアフリー化しており、電動の車椅子が電車にも乗れる作りになっている。

改札のない、バスと路面電車の一体型ホームとなっており、段差がなく、移動距離も少なくて済む。

新駅については、ネーミングライツを販売し、個々のベンチには寄付者のプレートを付けて

広告効果も出している。

開業1年は100円の設定をし、市民への周知を図った。

魅力ある都市景観の形成を高める車両は、窓が大きく、明るい空間作りを演出。さらに、町で購入した花を電車に持ち込むと、運賃を無料化するなどの〈花 Tram 事業〉が好評である。

開業前の富山ライトレール沿線での新規着工件数は90軒ほどだったが、開業後6年の平均件数は116件と、1.29倍に上がり、その便利さゆえに、沿線に病院も増えた。コンパクトなまちづくりが効果を発揮し、人口は減少傾向にあるものの、沿線の人口は増加傾向となっている。

富山市が(ガラスの街とやま)の魅力を新幹線利用客らにPRするため、高架下空間に設置したフロアシャンデリアは、JRの待合室から見ることができ、ガラス張りの駅舎からはライトレールも見ることができる。

今後、JR富山駅と、高架にあるライトレール停留所、駅前広場との一体感を出す事により、さらに利便性が高まることとなる。

公共交通を軸とした、拠点集中型のモデルとして、今後が非常に楽しみな交通機関である。



